

第一学期終業式のことば

平成二十四年度の一学期の終業式となりました。

さて、皆さんはこの一学期を振り返ってどうでしたか。

ただ今、一学期を終了するにあたって

(一年生) 横山健太 くん、

(二年生) 岡田愛未 さん、

(三年生) 鈴木加奈子さんから発表がありました。皆さんも共感できるところが多かったのではないでしょうか。いずれも立派な発表でした。

一年生は、入学して四ヶ月、中学校生活にも慣れ、勉強や運動に一生懸命取り組みんでいます。一生懸命取り組みたいことは、自分の限界への挑戦になるので、その分自分が成長するということです。

二年生は、今年からはじまった自然体験教室では、登山、飯ごう炊さん、キャンプファイヤーなどの活動を通して、協力や思いやり、自主性が伸びたと思います。また、部活動で先輩から後を引き継ぎ、これからはまさに岡部中学を代表する立場です。志を持ち、自覚と責任をもって、取り組んでください。

三年生は、部活動は引退になりますが、まだまだ学校の中心です。二学期に開催される体育祭や校内音楽祭などでは、リーダーシップを発揮し、素晴らしい行事を創り上げてみてください。一方、これからは自分をもう一度よく見つめなおし、進路の決定の準備をしていかなければなりません。多くの生徒が受験に向け、この夏休みをどう過ごしていくかは、とても意義のあることだと思います。受験合格に近道はありません。一日一日を大切にし、努力を積み重ねていくしかありません。自分に負けず、努力してってください。

次に岡中全体としてのよい点を二つ述べます。

まず、落ち着いて授業を受けている生徒が多いということです。落ち着いて授業を受けられると学級全体の学力が向上します。例えば、三年生の教室に行きますとどの教科でも授業に集中しています。集中するポイントは、姿勢にあります。腰骨を立て、よい姿勢を保つことが、学習の集中につながっているのです。二年生や一年生の教室でも姿勢のよい生徒が増えています。姿勢がよくなると学習に集中し、学力が向上します。学級は、学習する場です。学級が一つになり、落ち着いて、しっかりと学習していきましょう。

よい点の二つ目は、あいさつのよくなる生徒が増えていることです。正門には次のような旗が立っています。「あいさつで、明るい笑顔 地域の輪」ご存知本校丸山絞加さんの作品です。おはようございます。こんにちは。さようなら。岡中生の気持ちの良いあいさつが聞こえてきます。あいさつは人と人の心のコミュニケーションです。岡中を訪れる方から「岡中生はあいさつがとてもよくできますね。」という言葉をいただき、大変うれしくなります。

しかし、まだ、あいさつがよくなれない人もいます。学校はもちろん、家でも地域でも、自分から進んで元気な声であいさつができるようにしたいものです。あいさつが一番の学校になるようしっかり取り組んでください。

次に、直していかなばならない課題を一つ話します。

それは、自転車の安全な乗り方です。中でも横一列に並んでの並進と一時停止をしないことが危険です。特に、車とぶつかったら命を失うことにもなります。先日、私の家の近くで大きな交通事故があり、若い女性が命を落としました。大変悲しいことです。

事故はいつ、どのように起こるか分かりません。自分は絶対に大丈夫ということはありません。夏休み中も、常に自転車運転のルールを守ってください。

明日から、夏休みが始まります。

この夏に与えられている時間は、皆平等です。充実した夏休みにするその第一は、一人一人が志を立てることです。この夏をどう過ごすか。コツコツ勉強を続ける。本を読む。朝早く起きる。部活動を休まない。などの志を立て、それを続けてよい習慣を身につけたいものです。

八月二十九日に心身ともに一回りたくましくなった皆さんに会えることを楽しみにしています。以上で一学期終業式の言葉とします。

平成二十四年七月二十日